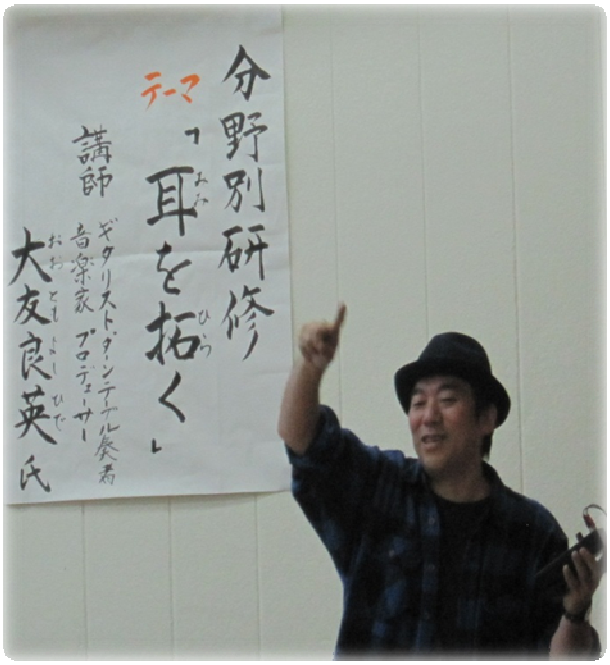
音楽福祉ネットワーク通信

第12号

発行所
大阪府障害者福祉事業団
音楽プログラム委員会
代 表　上田　裕久　（くすのき寮長）
音楽事務室　TEL　080－1449－6186

じぇじぇじぇ！！！
大友良英さんがやってきた！！

大阪府障害者福祉事業団の専門性分野別研修の講師として、NHK 朝の連続テレビ小説「あまちゃん」の音楽を手がけられた音楽家・音楽プロデューサー大友良英さんが来られました。大友さんは９年前から知的障がいがある方々と音楽家とでつくる神戸の即興音楽バンド「音遊びの会」に参加され、昨年９月にはロンドン＆グラスゴーへのライブツアーをされました。その様子は NHK「ハートネットテレビ」で３ 回にわたって放送されました。その大友さんが、こんごう福祉センターに！
「じぇじぇじぇ！！！」



「耳を拓(ひら)く」と題した研修には 50 名の事業団職員が参加しました。 前半は講義、後半は大友さんの指揮による参加者全員の「即興オーケストラ」演奏でした。「どきどきしたけど楽しかった」「音が重なった時は感動した。」等の感想が参加者からありました。

（詳しくは２～３面をご覧ください。）

専門性分野別研修・音楽講座報告

テーマ　耳を拓(ひら)く

講師：大友良英さん

（音楽家・音楽プロデューサー）

大友さんが知的障がいがある方と関わったのは、ゲストミュージシャンとして参加した即興音楽演奏グループの「音遊びの会」が初めてで、会の音楽活動を通して、「音楽っていったいなんなんだろう」ということを深く考えるようになったそうです。

大友さんが職員研修で語られた内容の概要をお伝えします。

学校の音楽が苦手な人が多いのはなぜか？

明治以前の日本には、「音楽」という言葉や概念はなく、その地域独自の節やリズムの地歌や祭りのお囃子、音頭、子どものわらべ歌や子守歌などがあって人々は暮らしの中で自然にそれらを楽しんでいました。また雅楽なども、独自の体系を持ち演奏されていました。

しかし、明治維新以降、学校音楽の内容を考えるにあたり、日本オリジナルのものは否定され、「ドレミファソラシド」を基準とする「西洋音楽」を取り込んでいきました。西洋から入るクラシック音楽は高尚ですばらしいという価値のようなものが学校教育の中に流れていきました。→

→暮らしの中で自然に身についた音や節やリズム感覚と外来の西洋音楽とは相いれず、西洋音楽の指導者は「日本人は、和音感覚がなく音痴である」と評するようになります。人々の多くが学校音楽への苦手意識を持つようになりました。また学校音楽に馴染んだ子どもは、西洋音楽の訓練の中で、成績がいい子どもほど訓練されたことを訓練されたように表現し「これが音楽だ」と思うようになっていきました。

世界には西洋音楽以外の音楽のほうが実際は多いのですが、学校ではほとんど教えられませんでした。

メディアの影響

ラジオやレコードなど録音技術が高まり、メディアが発達するようになると、技巧性の高い上手な演奏をする人の音楽や超一流の音楽が世界中で簡単に聴けるようになりました。その影響から、音楽はこういうものだ、と思い込む人が増え、素人には音楽をすることができないような意識が広まりました。

学校音楽やメディアの影響は大きく、音楽は専門家がするもので、専門家でない人は専門家の演奏する音楽を聴きに行く、という感じになってきたと思います。

私は学校の音楽が苦手で、合唱では音をはずしてばかりで、最後は声を出さず口パクだけやってるような生徒でした。音楽の成績はいつも悪かったです。そんな自分が今では音楽家として 30 年間あちこちで演奏したり、音楽を創る仕事をしています。

専門家ではない、ふつうの人が音楽をしてはいけないのか、音楽をすることが許されないのか、自分たちが持ってしまっている音楽の基準が音楽を創るうえでの上下関係つくっていないか…そんなことをずっと考えてきました。→

→もっといろんな音楽があっていいし、音は状況によって、あるいは置く場所によって変わるし、相手との関係性によって聴こえ方が変わってきます。「音遊びの会」の子どもたちと音楽を一緒にすることでいろんな発見があり、いろいろ考えました。

音楽はこうあるべき…という考えはやめて、音楽の専門家でない人も、専門家も一緒に音楽ができるような場を創りたいなと思っています。

これからしていきたいこと

これからは、いろいろな場所で「音楽は自分で創れるし、創っていいんだ。」ということを、もっと人にわかりやすく伝えていきたいと思っています。例えば「ド」音を指定しないような、音程を合わさなくってもいい合唱曲を創ったり、複数の人が集まって、その場で共通のルールを作ることで、その時にしかできない演奏音楽を創り出したり…。伝統的なものもいいけれど、自分たちで新しく創ったらいいじゃないかと考えています。しかもつまんない音楽じゃなくって面白い音楽を。

大友良英さんと音楽プログラム委員会メンバー

丘の上のハーモニー inこんごう福祉センター

ひとときコンサート
8/28 かんなびーず

チロリン村
7/2　岩下徹さん

ひとときコンサート
3/14 HANA★JOSS

ひとときコンサート
8/28　TATSUKI　AGENA

チロリン村
11/14 うめぼしばあちゃん

2013 年度もチロリン村やコンサートに素敵なゲストが沢山来てくださいました。皆様、ありがとうございました。

チロリン村
3/27　河南高校　地車

みんなでつくるコンサート　2/26 もみＣガール

音楽担当によるほっこりコンサート　1/29